



和 ～心をつなぐ～

令和6年4月27日
第1号

目標をめざし やり抜く強い意志を

和光中学校では、毎月「道徳の日」に、さまざまな人の生き方や社会情勢について話を聞き、自分自身の心と向き合いじっくり考える時間をもっています。

今年度、1回目は元プロ野球選手：松井秀喜（まついひでき）さんの半生を通して、『目標を目指しやり抜く強い意志をもつこと』の大切さについて考えました。



☆ 1年生 ☆

- 目標をもち、その目標に向かって自分自身で計画を立て実行していくということを基本に常に努力をし続けたい。
- 目標をもって具体的な努力を日々重ねて目標を達成できるようになりたいです。
- これまで悩んだときはいつも監督や親に相談していました。これからは松井さんのように自分で考える力もつけるようにがんばりたいです。

☆ 2年生 ☆

- 奥にある大きな目標を達成するために身近な課題を1つ1つ頑張ってきた松井さんはすごいなと思いました。私もまずは小さなことでもいいから、何か課題を見つけて1つ1つ積み上げていきたいです。
- 夢や目標はあきらめずに追い続けたらいつか必ず達成できることがわかりました。自分には夢があります。正直、あきらめかけていたので、今回のお話を聴いて、あきらめずに頑張ってみようと思いました。

☆ 3年生 ☆

- 私は自分の目標を2年生の3学期のときに決めました。その目標に向けて、自分が今何をすべきなのかをしっかりと考え、あきらめずに自分が決めた目標に向かっていきたいです。
- 今年の目標、今月の目標、今日の目標と身近な目標を定めることも大切だと思いました。
- 僕も急激にすごい数字を残せるような人ではないので、一步一步努力をしながら進んでいくしかないと思いました。身近な目標や夢を見失うことなく練習から意識して努力したいと思いました。
- 僕も総体が近づいているので、新しい技術を習得し、試合で勝てるようにしていきたい。

松井さんは高校時代、春夏4回甲子園に出場。卒業後は読売ジャイアンツに入団し、外野手4番の強打者として活躍。2003年に大リーグのニューヨーク・ヤンキースに移籍し、2009年ワールドシリーズでは日本人選手として初の最優秀選手に選ばれました。2012年のシーズンを最後に引退しています。松井さんのメジャーリーグでの日本人最多本塁打数175本は先日、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手がホームランを打つまで、破られていませんでした。

松井さんの言葉を紹介します。

僕は一步步階段を上がっていくタイプだと思っています。急激にすごい数字を残すとか、すごい技術を残すとか、すごい技術を身につけるとか、そういうことは恐らくないでしょう。一進一退を繰り返しながら、ちょっとずつ進歩していくしかないと思っています。

そして、きっちり階段を上がっていくためには、「夢」と呼べるような大きな目標だけでは足りません。今年の目標、今月の目標、今日の目標と、まずは身近な目標を定めるようにしています。目標は数字ではなく、具体的な行動にした方が目安になります。

大リーグへ移籍した当初、僕は外角投手がもつクセ球に悩みました。外角へのボールが、沈むようにして、さらに外へ落ちていくのです。(中略) 何度打ち取られても、そのクセ球につられてバットを出してしまい、いつもゴロになってしまいました。このコースのボールが「ゴロ球」と呼ばれていた由縁もここにあります。

当時、究極の目標としては、そのような球もスタンドまで運びたい、ホームランにしたいと思っていました。しかし、急にホームランを打てるようになるはずがありません。それでは、何をすべきでしょうか。

僕はまず、外のストライクゾーンを見極めることを目標としました。(中略) そして次に、左方向へ強い打球を飛ばそうと考えました。こうして、外の球をヒットにできれば、相手投手の攻め方が変わってきます。「松井は外角球もヒットにする」と思えば、逆に内角を攻めてくるでしょう。そうなれば、甘い球も出てきます。そして、その球を逃さずに捕らえれば、ホームランだって打てるはずですよ。

もちろんこれは、頭で考えた理屈で、実際にはこんなに簡単にはいきません。でも、このように考えれば、日々努力すべき具体的な内容が分かります。打てずとも、混乱に陥ることは少なくなります。

さて、新学年になり約2週間、決意した目標に向かって学習や部活動などの取り組む姿勢はどうですか。今はやる気に満ち溢れ、前向きに取り組んでいると思います。これから目標達成に向けて、長い道のりになる人もいますかと思えます。途中で、自分の進む道を見失わないようにするには、身近な目標を立て、具体的な行動を設定することや必ず目標を達成するという強い気持ちをもつことが必要ですね。また、自分の取り組みを信じる強い気持ちを持つことも必要です。

素振りを繰り返した
高校時代の松井さんの手



素振りを繰り返した高校時代の松井さんの手